

令和7年（2025）8月29日 No.5

教育長だより

生駒市教育委員会事務局
生駒市東新町8番38号
0743-74-1111(代)
文責 原井葉子

学校に行きづらいと感じたら

25日から、2学期が始まりました。長い休みの後は、環境の変化に順応することが苦手な子どもにとっては登校への不安が高まります。学校に行きづらいと感じた時には我慢や無理をしないで休むことが必要な場合もあります。大事なことは、一人で抱え込まないで周りの誰かに伝え相談することです。安心して自分らしく過ごせる場所や方法を一緒に考えることで、きっと不安やしんどさが軽くなります。

各学校では、個別の学習や活動ができる校内サポートルームやオンラインによる授業など、本人や保護者の方と相談しながら自分に合った場所や方法で学べる体制作りに取り組んでいます。

各校のスクールカウンセラーや、教育相談室、いきいき・のびのびほっとルームなど相談機関ではさまざまな状況に応じた個別の対応をしていますので、気軽に相談してください。

◎ いきいき・のびのびほっとルーム

<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000022454.html>

◎ 生駒市教育相談室

<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000022450.html>

◎ 生駒市子ども・若者総合相談窓口

<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000002181.html>

「学びの多様化学校」開設に向けて

生駒市では、学校に行きづらい子どもたちの教育支援をさらに進めるために、「学びの多様化学校」の開設に向けた準備を進めています。

「学びの多様化学校」とは・・・

一人ひとりに合った学び方で、自分のペースで学びを続けられるように、特別な教育課程を編成することができる学校です。評定をつけることができるので進学や将来の進路にもつながります。

生駒駅北口の現「幸楽」の施設を改修する予定で、近隣には駅や図書室、たけまるホールなどの公共施設が充実しており、まち全体を学びの場として様々な教育活動が展開できます。令和9年4月開校を目指します。

【参考】学びの多様化学校一覧(文部科学省)

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1387004.htm

生徒の力がつなぐ生駒の未来！

8月4日、生駒市コミュニティセンターで、市内8中学校の生徒会代表者が一堂に会し交流会を実施しました。

前半は、それぞれの生徒会の取組を発表しました。挨拶など目標が達成出来たらシールをもらって、全校の90パーセントが達成出来たらごほうびイベントを開催する企画や、校則の見直しでは、靴の色や種類、靴下、セーターの着用など、毎年少しずつ改善を重ねてきた経緯が語られました。生徒自身が「より良い学校環境をつくりたい」という思いを持ち、主体的に取り組んでいることが印象的でした。後半はグループに分かれて、行事の運営方法や校則のあり方について意見交換が行われました。3月にオンライン交流を経験していたこともあり、すぐに打ち解け、各校の取組に対する質問や感想が飛び交う活発な時間となりました。

今回の交流会を通じて、生徒たちが「自分たちの学校は自分たちでより良くできる」という意識を持ち、他校の仲間と学び合う姿に、教育の本質を感じました。生徒会活動は、単なる行事運営にとどまらず、自治の力を育み、社会性を培う貴重な学びの場です。これからも、生駒市の子どもたちが互いに刺激を受けながら、未来を切り拓いていくことを心から願うとともに、私たちも彼らの挑戦を支え、応援していきたいと強く感じました。



生駒南小・中学校の新たな学校づくり

新たな学校づくりに向けて、基本設計の作業が始まりました。業務受託業者である類設計室と協議を重ねながら設計案の検討を進めています。重点事項として、①自分らしく、個性を伸ばし合う学びの拡充、②地域活動の創出・拡大、③防災力の向上の三点を挙げ、今後は様々な立場の方々から意見を聴取する「共創スタジオ」を開催し、第1回は9月10日に南小・中学校の教職員を対象に実施します。現場の声を丁寧に拾い上げながら設計に反映させていくことで、より実効性のある学校づくりを進めてまいります。